

第 1 章 親子で語るそれぞれの時代

質問	教育環境	2
	1 ゆとり教育	
	2 進学希望者の多くが大学生になれる時代	
質問	経済環境	4
	1 バブル崩壊と金融危機	
	2 リーマンショックを乗り越えアベノミクスがスタート	
質問	雇用環境	6
	1 変わる日本的雇用慣行	
	2 進む非正社員化、広がる格差	
	3 新卒の就職環境の移り変わり	
質問	家族構成	9
	1 多様化する家族の形	
	2 これからの家族構成	
質問	コミュニケーションツール	13
	1 携帯電話・スマートフォン・インターネットの普及	
	2 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の特徴	

第 2 章 子どもを取り巻く環境

1.	少子化の進展～減る子ども～	19
2.	子どもの貧困	21
3.	子どもの虐待	24
	1 児童虐待への対応	
	2 児童虐待に関する相談件数	
4.	施設で育つ子どもたち	27
	1 乳児院	
	2 児童養護施設	
5.	いじめ	31
6.	子どもに身近な暴力～校内暴力～	35
7.	少年犯罪	37
	1 7人に1人が少年犯罪を身近に感じている	
	2 補導された不良行為のうち深夜はいかい・喫煙で9割	
8.	若年介護者	40
9.	ネット環境	42

第 3 章 今どきの親子関係

1. 良好な親子関係…………… 46
 - 1 仲よし親子が大多数、母親と娘が一番
 - 2 親と仲が良い子どもは生活にも満足
 - 3 父親の3人に1人以上・母親の5人に1人以上が子どもの理解に自信がない
 - 4 親はわかってくれない？父親と娘の関係は難しい
2. 親子の距離感の変化…………… 52
 - 1 親との外出、抵抗がない子どもが増加
 - 2 不満や悩み事の相談相手
3. 反抗期としつけに見る親子の関わり方の変化… 56
 - 1 反抗期がない子どもが増加
 - 2 親への反発心
 - 3 ほめ育ての親が増加
 - 4 親のことを口うるさいと思うか
 - 5 ほめ育ての親のほうが、親子関係が良好
4. 親といつまで同居したいか…………… 63
 - 1 年収が低いほど増える実家暮らし・・・
ボーダーラインは300万円？
 - 2 実家暮らしは、「経済的自立まで」か「結婚まで」

第 4 章 子どもの交友関係とネット社会

1. 子どもの交友関係…………… 68
 - 1 年齢が低いほど友人の数を意識
 - 2 異性への見方が変わった？異性との友情は成り立つか
 - 3 恋人と友人どちらを選ぶ？
 - 4 年齢が高いほど「自分一人」が心地よい
2. SNSが子どもたちに及ぼす影響…………… 73
 - 1 年齢が低いほど「SNS疲れ」
 - 2 大事な話をメールやLINEなどで伝えることへの抵抗感
3. ネット社会のトラブル…………… 76
 - 1 親の心配
 - 2 実際に会ったことのない相手とのコミュニケーション
 - 3 便利な反面、トラブルも
 - 4 未成年者のSNS事件簿
 - 5 親のネットリテラシーとネット社会における「しつけ」

第 5 章 子どもの進学

1. 進路～子どもの希望・親の希望～…………… 86
 - 1 大学・短大への進路希望～男性7割・女性6割～
 - 2 大卒の親は子どもにも大卒以上を希望
 - 3 実際の大学・短大への進学率は男女ともに6割

2.	子どもの進学への親の関わり……………	90
1	親の8割が子どもの進学に関与	
2	年収が高いほど、母親は進学に積極的に関与	
3.	教育費の現状……………	92
1	中学から大学までオール私立は、オール国公立の2倍の出費	
2	親の時代の2倍になった大学授業料	
4.	奨学金の受給・延滞状況……………	95

第 6 章 子どもの就職

1.	人手は不足。だけど希望の職に就けるかは別…	98
2.	新卒への求人も好転！……………	101
3.	内定率は改善！……………	103
4.	新卒の男性10人に3人・女性10人に4人が 非正社員の時代……………	104
5.	これだけ差がある・・・賃金格差……………	106
1	50代前半の大卒と高卒の年収格差・・・ 男性1.6倍・女性1.8倍	
2	女性の賃金は男性の7割	
3	50代前半の正社員と非正社員の年収格差は約2倍	
4	これだけ違う！企業規模による生涯賃金格差	
6.	大卒の3割が3年以内に離職……………	112

7. 子どもの就職について 親の思いと子の思い… 115
- 1 不安な就職、子どもはどう感じているか
 - 2 親子で異なる、仕事選びのポイント
 - 3 こんなに多い!? 子どもに地元で働いてほしい親
 - 4 就職活動についての不安
 - 5 今どきの親は就活もヘルプ
 - 6 親が子どもに身につけてほしいこと、
子どもが身につけたいこと
-

第 7 章 若者の恋愛・結婚・出産

1. 結婚・出産事情…………… 124
- 1 結婚と離婚の比率は 3 : 1
 - 2 結婚 4 件のうち 1 件が再婚
 - 3 出生数の減少が止まらない
 - 4 進む晩婚化・晩産化
2. 結婚についての親子の意識…………… 129
- 1 親との関係が良好な子どものほうが結婚に前向き
 - 2 子どもに何歳頃までに結婚してほしいか
3. 子どもを持つことについて…………… 133
- 1 子どもがほしいか?
 - 2 子どもがほしいのは「子どもがいると楽しく、幸せだから」
 - 3 子どもを持つにあたり希望すること
4. 今どきの恋愛意識…………… 136
- 1 男女ともに恋愛に消極化
 - 2 恋人がいる人は少数派
4~5割の人が「恋人はいないがほしい」

- 3 恋人がほしくない
 - 4 恋愛が面倒な理由
 - 5 人間関係を気にして消極的になっている？
5. 結婚相手との出会いと婚活…………… 142
- 1 婚活経験
 - 2 婚活で理想の相手に出会えるか
 - 3 婚活への親の関わり
6. 結婚に求めるもの…………… 147
- 1 結婚のコスパ～得か損か～
 - 2 独身でいる理由
 - 3 女性が結婚相手に求める最低年収は400万円？！
 - 4 結婚相手として重視したい条件

第 8 章 次世代とこれからの親子関係

1. ゆとり世代とその次の世代…………… 156
- 1 生活満足感と将来への希望の有無
 - 2 20代社会人の特徴を表すキーワード
 - 3 高校生世代の特徴を表すキーワード
 - 4 親世代が描く子ども世代のキーワード
 - 5 ゆとり世代の次の世代？
2. これからの親子関係…………… 162
- 1 今どきの親子の関わり方
 - 2 これからの親子の距離感
 - 3 子どもに望むこと
3. おわりに…………… 165

- 本書では、株式会社明治安田生活福祉研究所が株式会社きんざいと共同で2016年3月に実施した「親子の関係についての意識と実態に関する調査」の調査結果を全編通じて随所に使用しています。
同調査では、親子関係の現状、恋愛観と友人観に見る親子の相違、子どもの進学・就職等への親の関わり、子どものSNS利用に関する親の心配等について、WEBアンケートによる調査を実施しました。
同調査における調査対象の親と子どもは次のとおりです。

【親】

全国の35～59歳の男女（子どもが中学生～29歳） 9,715名

【子ども】

全国の15～29歳の未婚男女
（高校生・専門学校生・大学生等・社会人） 5,803名

※本書の同調査結果において、「子ども」と称するのは、特に注記等がない場合は上記における子ども（15～29歳の未婚男女）を指します。また、「大学生等」とは大学生の他、短大生および大学院生を含みます。

- また、第7章では、明治安田生活福祉研究所が2016年3月に実施した「第9回結婚・出産に関する調査」の調査結果を引用しています。
同調査では、20～40代の恋愛と結婚、出産と子育てについて、WEBアンケートによる調査を実施しました。
同調査における調査対象は、全国の20～49歳の男女3,595人ですが、このうち本書では、主に20代・30代のデータを使用しています。